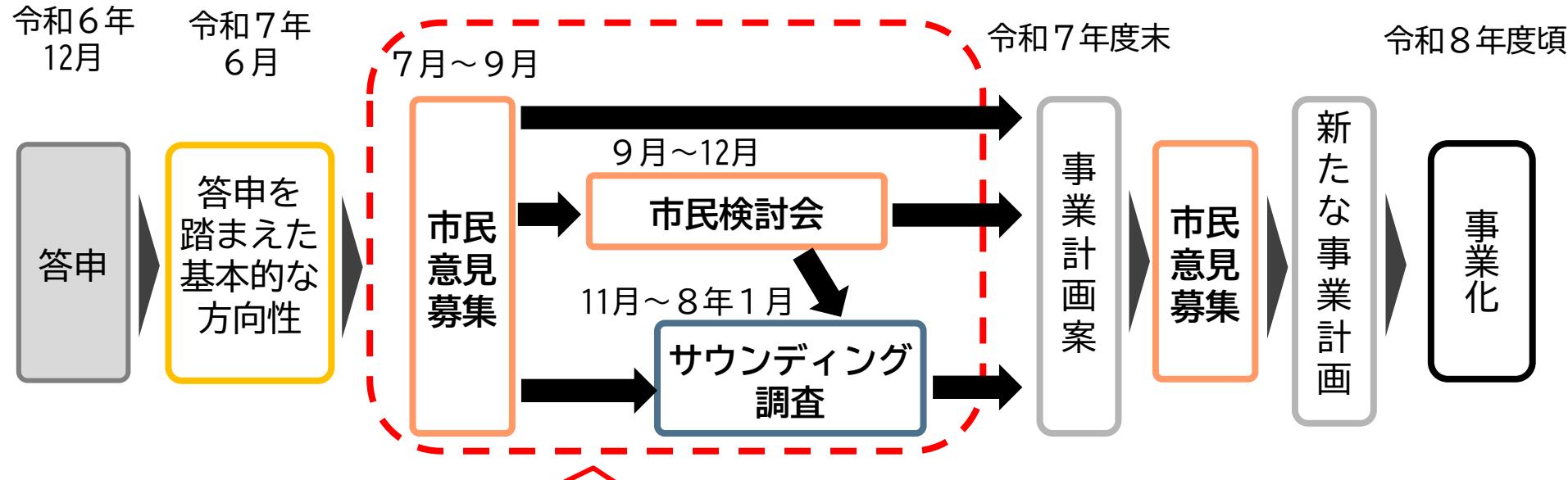


# 山下ふ頭再開発の取組状況について

## 【報告項目】



- 1 市民意見募集の実施結果について
- 2 市民検討会の実施状況について
- 3 サウンディング調査について

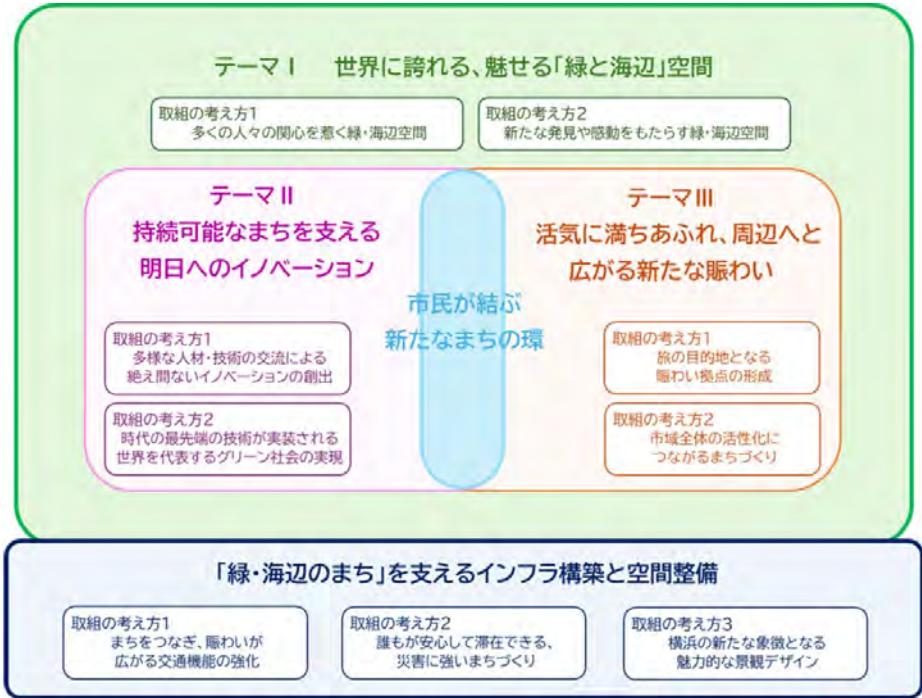
# 1 市民意見募集の実施結果について

# 1 市民意見募集の実施結果

【意見の概要】令和7年7月1日(火)～9月9日(火)

| 意見分類            | 件数           |       |
|-----------------|--------------|-------|
| 山下ふ頭の将来像        | 1,099        |       |
| 再開発の各テーマと取組の考え方 | テーマⅠ 緑・海辺    | 277   |
|                 | テーマⅡ イノベーション | 113   |
|                 | テーマⅢ 賑わい     | 267   |
|                 | 市民が結ぶ新たなまちの環 | 79    |
|                 | 交通機能の強化      | 221   |
|                 | 災害に強いまち      | 157   |
|                 | 景観デザイン       | 85    |
|                 | その他、自由記述     | 312   |
|                 | 合計           | 2,610 |

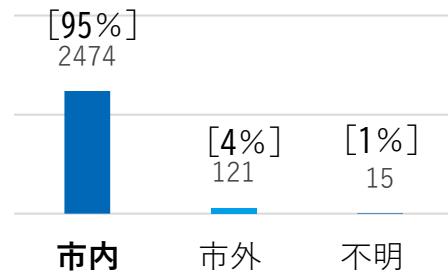
## 【新たなまちの将来像】



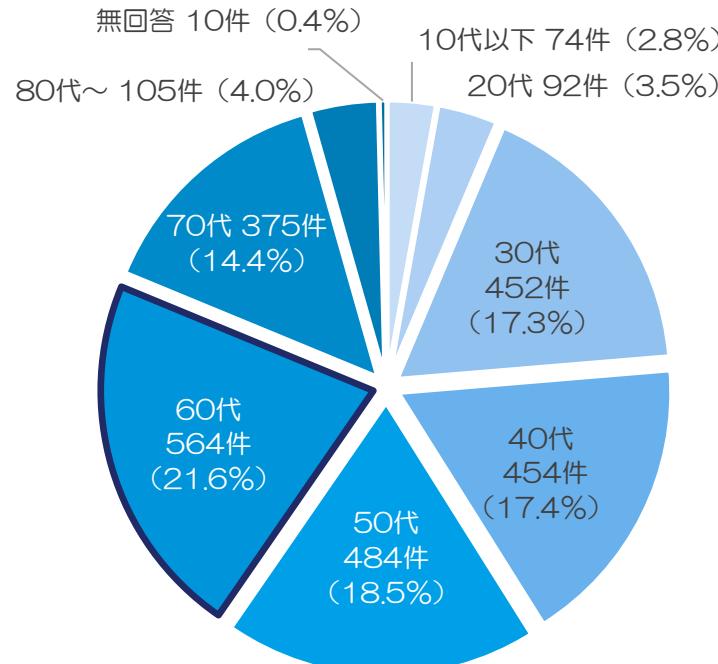
# 1 市民意見募集の実施結果

## 【意見の集計結果】回答者の属性

回答者の約95%は市内在住で、各区から幅広くご意見をいただきました。中でも地元の中区から多くのご意見が寄せられました。



年代別では60代が最も多く、約22%を占めています。



# 1 市民意見募集の実施結果

【AIを活用した要約】山下ふ頭の将来像（全体について）：1,099件

- ① 市民が利用しやすく、憩いや交流ができる広い公園や自然豊かな空間を中心に整備してほしい。
- ② 収益性や税収確保を重視し、長期的に横浜市や市民に還元できる開発をしてほしい。
- ③ 緑や海辺の自然・景観を活かし、環境保護や防災に配慮した開発にしてほしい。
- ④ 子どもから高齢者、障害者まで安心して過ごせる施設や仕組みを整備してほしい。
- ⑤ 港町横浜の歴史や文化を守り、体験や学びにつながる施設を整備してほしい。
- ⑥ 魅力や活気、体験を生む新たなランドマークや先進的な施設、観光の拠点を整備してほしい。
- ⑦ 計画や将来像の具体性を高め、予算や事業スキーム、維持管理等を明確にしてほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

## 【AIを活用した要約】テーマI 緑・海辺：277件

- ① 海辺の自然や浜辺、水遊びなど、水に触れられるエリアや施設を充実させてほしい。安心して子どもや家族が楽しめる水辺空間・親水施設が欲しい。
- ② 緑豊かで開放的な公園や自然に触れられる空間を整備し、市民が憩い・楽しめる場所にしてほしい。商業施設や高層ビルは最小限に抑えて、自然環境の保全や景観にも配慮してほしい。
- ③ 脱炭素や気候変動、生物多様性への配慮など、環境に優しいまちづくりを進めてほしい。
- ④ 市民が気軽に集い、子ども・高齢者・障がい者など多様な人が安心して訪れ交流できる場にしてほしい。
- ⑤ 山下公園や周辺エリアとの連携・一体的な緑地形成や開かれた動線設計を重視してほしい。
- ⑥ 自然を活かした防災・減災機能や災害対応力を備えた空間づくりをしてほしい。
- ⑦ 観光施設中心の開発よりも、市民生活を重視したオープンスペースや自然の場を優先してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

## 【AIを活用した要約】テーマⅡ イノベーション：113件

- ① 企業や大学・研究機関が集まる環境や、先端技術やイノベーションの実験・体験拠点を設け、市民や来訪者も実際に未来技術を体感できるエリアにしてほしい。
- ② 持続可能なまちづくりに向けて、再生可能エネルギーなどゼロカーボンにつながる技術が実装されるエリアにしてほしい。
- ③ 緑や海辺空間の中で市民や観光客が自由に活動・交流できる、多様な教育・体験施設を整備してほしい。
- ④ 交通アクセスやインフラの整備を重視し、世界から人や企業が集まる拠点としてほしい。
- ⑤ 多様な人材の国際交流と育成の強化を実現してほしい。
- ⑥ 多様な分野のイノベーションやライフスタイル変革の発信拠点として、有効な議論・体験・実証ができる場と仕組みを作ってほしい。
- ⑦ 再生可能エネルギーの導入による地産地消型のまちづくりや、脱炭素技術の研究機関が集まるまちづくりを展開してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

## 【AIを活用した要約】テーマⅢ 賾わり：267件

- ① 横浜ならではの歴史・文化・港町の魅力や景観を生かした開発を行い、他都市にはない個性を打ち出してほしい。
- ② 収容人数の多い多目的スポーツ施設を建設し、年間を通じたイベント開催や地域経済の活性化につなげてほしい。
- ③ 集客力の高いテーマパークやアニメ・マンガ・キャラクターなどエンタメ性ある大型施設を整備し、国内外から多様な来訪者を呼び込む場所にしてほしい。
- ④ イベントやスポーツ大会など多様な催しを開催できる拠点とし、地域・市民と連携した持続可能な賾わりを生み出してほしい。
- ⑤ 賾わり創出に際しては、周辺住民への騒音・混雑・治安悪化等に配慮した運営・施設整備を徹底してほしい。
- ⑥ 多様な世代や子育て世帯も含め、誰もが安心して楽しめる施設や設備を充実させてほしい。
- ⑦ 企業誘致や収益性の高い事業・施設の展開で、税収増や雇用創出などを目指してほしい。
- ⑧ 交通機能・宿泊・飲食施設などインフラを充実させ、快適で回遊性の高い都市空間として整備してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

【AIを活用した要約】 市民が結ぶ新たなまちの環：79件

- ① 市民が主役となり、誰もが安心して集い、交流や活動のできる場所や仕組みを作つてほしい。
- ② 子どもから高齢者まで、安心して遊び・学び・過ごせる、緑や水辺のある場や施設を充実させてほしい。
- ③ 防犯、防災に重点を置いたまちづくりをしてほしい。
- ④ 観光都市としての魅力を生かしつつ、市民の暮らしやすさ、地域の文化・歴史も大切にしてほしい。
- ⑤ 市民が運営に参加し、気軽に利用できる公共施設の整備や、交通・アクセスの改善を重視してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

## 【AIを活用した要約】交通機能の強化：221件

- ① 山下ふ頭へのアクセス向上や回遊性強化のため、鉄道延伸、LRTやロープウェイ、水上交通など多様な公共交通機関の導入・整備を進めてほしい。
- ② 周辺道路整備や駐車場の充実により、自動車や観光バスでも快適にアクセスできるようにしてほしい。
- ③ バリアフリー化や多言語案内など、多様な利用者に配慮した交通施設や案内の整備を進めてほしい。
- ④ 山下ふ頭開発では歩行者や自転車、自動運転車両など新モビリティの動線確保・安全な共存・回遊性向上を図ってほしい。
- ⑤ 交通アクセス計画では周辺の渋滞や混雑への影響を十分考慮し、観光・生活利用の動線を分けるなど、持続可能な交通環境を目指してほしい。
- ⑥ バス運転手の慢性的な人員不足を受けて、長距離・路線バス導入の現実性や具体策を慎重に検討してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

【AIを活用した要約】災害に強いまち：157件

- ① 地震や津波などの災害リスクに対応した防災拠点の整備や避難場所の確保、災害時の備蓄・物流機能の強化を行うようにしてほしい。
- ② 津波や液状化など山下ふ頭特有の自然災害リスクについて、地盤やインフラ強化、防潮堤や津波避難タワーなど、土地の特性に合った具体的な対策を講じてほしい。
- ③ 防災マニュアルや多言語避難案内の作成、防災訓練・体験施設、情報発信の強化など、全ての利用者が災害時に迅速に行動できる環境を整備してほしい。
- ④ 港の特性を活かし、災害時には物資・救援の輸送や搬入を円滑に行い、病院船の受け入れやヘリポートの設置など、陸・海・空が連携した総合的な支援体制を築いてほしい。
- ⑤ 災害時の港湾や海上交通の安全を確保する具体策を実施してほしい。

# 1 市民意見募集の実施結果

【AIを活用した要約】景観デザイン：85件

- ① 周辺と調和した美しい景観や横浜らしさを守りつつ、新たなランドマークや象徴的な景観を創出してほしい。
- ② 自然環境や緑、海辺の保全を重視した開発にしてほしい。
- ③ 高層の建物の乱立や景観を損なう建物の建設は避け、建物の高さ制限やデザイン統一に配慮してほしい。
- ④ 歴史や文化、伝統を尊重し都市の美しさや街並みの統一感を大切にした開発にしてほしい。

## 2 市民検討会の実施状況について

## 2 市民検討会の実施状況

### 【検討会の概要】

第1回  
(9/27)

現地見学・  
山下ふ頭  
を見た感想等

第2回  
(10/18)

テーマⅠ  
「縁・海辺」

第3回  
(11/8)

※それぞれのテーマに分かれて議論

テーマⅡ  
「イノベーション」

テーマⅢ  
「賑わい」

第4回  
(11/29)

市民が結ぶ  
新たなまちの環

基盤・空間(交通・防災・景観)

第5回(12/20) これまでの振り返り

## 2 市民検討会の実施状況

### 第1回概要：現地見学等 9月27日

#### «現地見学»

- ・マリンタワーから山下ふ頭の全景
- ・山下ふ頭内

#### «グループワーク»

- ・現地見学の印象
- ・10年後の山下ふ頭の姿

#### «参加者意見（抜粋）»

- ・現地見学を通じて、広さ、景色の良さや風の強さを体感できた。
- ・自分が考えてなかったような意見をほかの参加者から聞けた。色々な立場の方から意見を聞いて参考になった。いい刺激になる。

#### «現地見学の様子»



#### «グループワークの様子»



## 2 市民検討会の実施状況

第2回概要：テーマI 「緑・海辺」 10月18日

### «グループワーク»

世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」  
それはどんな空間？

- ・あなたがイメージする世界に誇れる、魅せる「緑と海辺」とは？
- ・誰がどのように利用する？
- ・必要な基盤や機能は？

### «参加者意見（抜粋）»

- ・芝生と木々を中心に、四季の変化や木漏れ日を感じながら散歩できる場所にしたい。
- ・水と触れ合える空間と横浜の歴史（赤レンガなど）を感じられる景観を融合した空間づくりがよい。

### «グループワークの様子»



## 2 市民検討会の実施状況

第3回概要：テーマⅡ「イノベーション」・テーマⅢ「賑わい」 11月8日

### «グループワーク»

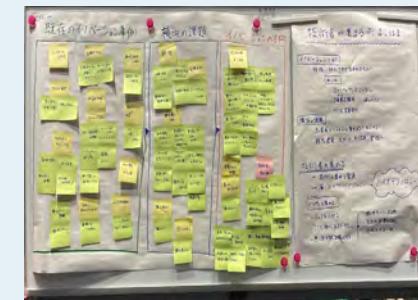
あなた（市民）が期待する  
「イノベーション/賑わい」とは？

- ・「イノベーション/賑わい」に対するあなたの感想・意見
- ・これまで議論してきた内容やソフト施策の視点

### «参加者意見（抜粋）»

- ・イノベーション技術者が集まる街、働く人の思い出に残るような街にする。
- ・賑わいのバランスが大事。観光客と住民向けのバランスが大事。オーバーツーリズムにならない度合いで、横浜らしさを生かした観光拠点とする。

### «グループワークの様子»



## 2 市民検討会の実施状況

### 第4回概要：「市民が結ぶ新たなまちの環」 11月29日

#### «グループワーク»

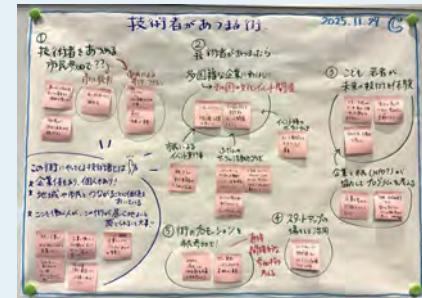
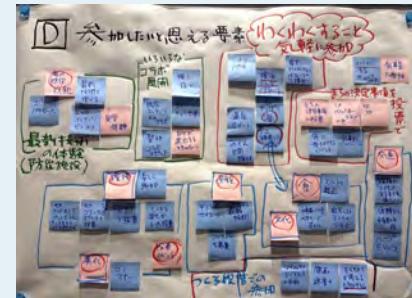
新たにできるまちで、市民が活躍  
できる、やってみたい活動とは？

- ・参加したいと思える要素・活動とは？

#### «参加者意見（抜粋）»

- ・愛着を持ってもらうために、植樹やタイルの設置などに市民が関われる仕組みがあると良い。
- ・周辺企業とのコラボレーションにより、市民が無料で参加できる企画を実現すれば、より多くの方に参加してもらえる。

#### «グループワークの様子»



### 3 サウンディング調査について

### 3 サウンディング調査の実施状況

#### 【サウンディング調査の概要】

|      |  |
|------|--|
| 申込期間 | 令和7年10月24日(金)～11月14日(金)                                      |
| 対象者  | 「答申を踏まえた基本的な方向性」で示したテーマ等に関心のある法人又は法人グループ                     |
| 実施期間 | 第1回：令和7年11月25日(火)～7年12月5日(金)<br>第2回：令和7年12月22日(月)～8年1月16日(金) |
| 参加者数 | 22者  |
| 業種   | デベロッパー、総合建設業、コンサルタント業、エンターテインメント業等                           |

### 3 サウンディング調査の実施状況

#### 【主なご意見】

##### ◆基本的な方向性の内容や関心のあるテーマ

- ・「緑と海辺」空間を核にまちづくりを行う考え方は、今の時代に沿った方向性である。
- ・都心の緑地を確保した上で、平時の「環境（快適性・脱炭素）」と、有事の「防災・レジリエンス」を両輪で推進するインフラの整備が「持続可能なまちづくり」に必要と考える。

##### ◆市民意見募集等の結果の具体化に関する工夫やアイデア

- ・市民が求めている緑地空間を、民間事業者単体で整備・運営するためには、収益性が見込める事業と組み合わせていく必要がある。
- ・市民や来街者が安全に埠頭内を回遊できるよう、車と歩行者は階層やゾーニングの工夫で分けると良い。地盤面より10m程度の高さに歩行者デッキを設けることで、津波・高潮対策にもなる。
- ・市民意見の実現に向けては、事業全体における適切な公民の役割分担が重要となる。

##### ◆対象地域の優位性や潜在的 possibility

- ・横浜のシンボリックな景観を常に楽しめるロケーションにより圧倒的優位性を備えている。
- ・都心部からのアクセス性が高い点が強みである一方で、都内に宿泊客が流れてしまう傾向にあり、横浜に滞留させるためには、東京との差別化を図る施設・機能の導入が必要である。
- ・埠頭全体のポテンシャルを向上させるため、元町・中華街駅からの効率的な動線確保や、埠頭の奥まで人々を誘導するような機能配置、移動手段の整備が必須。

## 4 今後の進め方

令和7年6月 答申を踏まえた基本的な方向性

市民意見募集

7月1日～9月9日

市民検討会

9月27日～12月20日

サウンディング調査

11月25日～1月16日

令和7年度末

事業計画案